

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020)6月1日

## 6月号

URL : [www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/)

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』



## 再会

校長 富田 操

3月16日、4月8日、4月21日、5月7日、「今度こそは子どもたちに出会える」と再開予定の日に向けて、繰り返し教室環境や学習内容の準備等子どもの受け入れ態勢を作ってきました。しかし、その都度、再延期となり、また受け入れ準備をし、さらに延期に・・・ということが繰り返されてきた中で、ついに本日6月1日に学校再開が現実となりました。これまでの間、保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解、ご協力いただき、本当にありがとうございます。そしてまたご苦勞をおかけしました。むろん現状は予断を許しませんが、まずは子どもたちとの再会を喜びたいと思います。素直にうれしい気持ちでいっぱいです。

この休業期間中、各ご家庭で、大変なご負担があったと思います。学校では、234人の児童に対し、全て「公平にできることをやる」ということを前提に対応を考えてきました。その判断の責任は全て校長である私にあります。その中で、学校の対応も至らぬ点が多々あったことと思います。お詫び申し上げます。また、多くの保護者の皆様に応援やねぎらいのお言葉もいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さて、まずは学校再開の運びとなり、学校に子どもたちが戻ってくることはこの上ない喜びですが、それと同時に、子どもの安心・安定、感染防止、学習内容の取戻し等、課題は山積みです。一つひとつ、しっかりと対応してまいります。その考え方については、次ページ以降に、そうした課題についての「学校の考え方」を載せております。ご覧いただき、ご意見・ご質問・ご助言がありましたら学校へお寄せください。

本日、学校の再スタートの日を迎え、再度、学級開き・授業開きを行っていきます。しかし、当然ながら、この長期の休業後であることを受けて、子どもたちのケアということ念頭に、無理をさせ過ぎることなく、子どもの状態を細かく見ながら、まずは子どもたちが学校・学級に慣れるということを第一に考え、第一期を過ごしていきます。

そして、その中で、状況を見据えて本来の学校の機能である「授業を通して、子どもたちの成長を図る」ということに徐々に力を注いでまいります。

また、このように先行きが見通せない状況の中で、横浜市の大きな方針を受けながら様々な行事の見直しをしていかざるを得ません。横浜市主催の大きな行事の中止が次々と決定されている中で、子どもたちが楽しみにしている行事について、安全第一はもちろんですが、粘り強く可能性を探っていきたいと思っています。

この体験したことのない状況下で、保護者・地域の方もそうだと思いますが、学校もまたこの再開に向けて不安でいっぱいです。しかし、前を向いて進んでいかなければなりません。保護者の方々、地域の方々にも今まで以上に相談し、お知恵を借り、お力を借りる場面が多くあると思います。どうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。